・・・もし千葉市が給料収入500万円の家庭だったら・・・

市の財政と家庭の家計ではしくみが違いますが、分かりやすくするために、令和3年度一般会計予算を家計簿に置き換えてみました。
なお、令和3年度の市税を給料500万円として作成しています。

≪　ちばしの家計簿　≫

日常的な収入
合計1,035万円

収　入

項　目	R3	R2	R3−R2増減
給料（市税）	500万円	528万円	△28万円
パート収入（使用料・手数料など）	77万円	81万円	△4万円
親からの仕送り（国庫支出金・地方交付税など）	419万円	405万円	14万円
友人から返ってくるお金（中小企業資金融資預託金収入）	39万円	54万円	△15万円
借入金（市債）	175万円	140万円	35万円
貯金の取り崩しなど（繰入金）	16万円	12万円	4万円
合　計	1,226万円	1,220万円	6万円

支　出

項　目	R3	R2	R3−R2増減
食費（人件費）	258万円	260万円	△2万円
生活費（物件費・補助費等など）	191万円	188万円	3万円
医療費（扶助費）	308万円	301万円	7万円
自宅の修理代（維持補修費）	24万円	27万円	△3万円
車・土地の購入代（普通建設事業費）	120万円	115万円	5万円
子どもへの仕送り（他会計への繰出金など）	146万円	139万円	7万円
借入金の返済（公債費）	135万円	131万円	4万円
貯金（積立金）	5万円	5万円	0万円
友人へ貸すお金（中小企業資金融資預託貸付金）	39万円	54万円	△15万円
合　計	1,226万円	1,220万円	6万円

※借入金及び貯金（R1年度末現在）

借入金の残高（市債・債務負担行為残高）　2,327万円
貯金の残高（基金残高）　76万円

令和3年度は、給料やパート収入が減った結果、日常的な収入は1,035万円となりました。また、支出は、食費などを節約しましたが、医療費などが増えたため、1,226万円となりました。
そのため、借入金や貯金の取り崩しを前年より増やし、なんとかやりくりしました。